

区立幼稚園のあり方の 見直し方針（素案）に対する パブリック・コメントの 意見及び区の考え方

パブリック・コメントの実施結果

1 パブリック・コメントの実施期間

平成 27 年 4 月 15 日(水)から平成 27 年 5 月 15 日(金)まで

2 意見の受付件数等

提出意見数	50 件
提出者数	22 人
提出方法	
WEB	11 人
FAX	5 人
持参	4 人
郵送	2 人

3 意見の方針への反映等

意見を方針に反映する	4 件
意見の趣旨は方針に取り込み済み	2 件
意見の趣旨に沿って取り組む	4 件
今後の取組みの参考とする	13 件
意見として伺う	16 件
質問に回答する	11 件

平成 27 年 10 月
新宿区教育委員会

1 「1 見直しの背景」に関するもの

	意見等の要旨	区の考え方
1	「1. 見直しの背景」にある、新宿区次世代育成支援に関する調査(いわゆる「ニーズ調査」)は毎年行われるのか。また、結果は「新宿区次世代育成協議会」にも報告されるのか。	ご質問にお答えします。 次世代育成支援に関する調査は5年計画で実施しました。結果については報告書を出していますのでご覧ください。

2 「3 見直しの結果」に関するもの

	意見等の要旨	区の考え方
2	ニーズ調査が行われ、区立幼稚園の廃止が見送られたことは望ましい結果だ。また、3歳児学級を新設することが将来的な需要への効果的な対策である。余丁町幼稚園についても、不足する面積を補う策を施すことを検討していると聞き、安堵した。 説明会で余丁町幼稚園も平成28年度3歳児の募集を行うことができるように検討しているとの話だったので、3歳児の入園を考えている方が多くいると思う。この期待が裏切られることのないことを望んでいる。	ご意見を方針に反映させます。 平成28年度から余丁町幼稚園でも3年保育を開始します。保育室は2部屋のみでしたが、面積を確保しつつ、新たな保育室設置等必要な工事を行います。
3	預かり保育について、余丁町幼稚園の3歳児学級新設にあたり、預かり保育も実施されとなれば、応募も増加し、適正な園児数が確保できると思う。平成27年度は比較的少人数で、4歳児、5歳児のみという面で、試行実施に適していると考えます。	ご意見として伺います。 運営上の課題等を検証するため、平成27年9月から市谷幼稚園と西戸山幼稚園で預かり保育を試行します。平成28年度からは試行する2園に加え鶴巻と花園幼稚園で預かり保育を実施しますが、運営方法等は基本的に同じものとする予定です。
4	余丁町幼稚園は歴史もあり、先生方と保護者のチームワークもよく、恵まれた緑豊かな園庭もあり、大変良い幼稚園だと思う。この幼稚園が廃園にならないと知り、嬉しい。 余丁町幼稚園は余丁町小学校との連携に大変力を入れており、子どもの発達発育にとっても最適な環境が整っている。この幼稚園を是非3年保育にしてほしい。この地域での区立幼稚園の3年保育は実施が期待される声が多く聞かれ、価値あると思う。3年保育には面積がちょっとだけ足りないとのことだが、そこを検討していただければ、解決策は見えると思う。是非、考えてほしい。	ご意見を方針に反映させます。 平成28年度から余丁町幼稚園でも3年保育を開始します。保育室は2部屋のみでしたが、面積を確保しつつ、新たな保育室設置等必要な工事を行います。
5	余丁町幼稚園での3年保育を実施してほしい。3年保育と2年保育を比べると子どもの成長の仕方も違う。また、子どもを預けている間、親も少しでも自分の時間が持てるようになるのでとても助かる。 他の区立幼稚園は遠く、私立幼稚園しかないなので、この地域に余丁町幼稚園があるのはとてもありがたい。	ご意見を方針に反映させます。 平成28年度から余丁町幼稚園でも3年保育を開始します。保育室は2部屋のみでしたが、面積を確保しつつ、新たな保育室設置等必要な工事を行います。

意見等の要旨	区の考え方
<p>6 今回の見直し方針の素案で、余丁町の廃園を見送ることにしていただき、地域の声をくみ上げていただいたご判断を本当にありがたく思う。今回の素案では、2年保育の園で部屋を確保できる園を3年保育にするとの項目があるが、余丁町はどうなるのだろうかと危機感を保護者はみな持っている。3年保育を望む声は区民から多く寄せられたからの今回の素案だと思うので、是非、余丁町、若松地域の子育て環境に偏り、不利益が生じないよう、他地域と同様、3年保育に余丁町もしていただきたい。</p>	<p>ご意見を方針に反映させます。 平成28年度から余丁町幼稚園でも3年保育を開始します。保育室は2部屋のみでしたが、面積を確保しつつ、新たな保育室設置等必要な工事を行います。</p>
<p>7 3歳児の定員拡大と同時に先生(または補助)の人数も増やすべきだと考える。現在の17名でも先生の眼が行き届かない様子が見受けられる。教育の質を落とさないためにも先生が増えないなら17名のままにとどめておいたほうがいいのか。</p>	<p>ご質問にお答えします。 子ども・子育て支援新制度において国が定める幼稚園教諭の配置基準は3歳児20人に対し教諭1人となっていますので、今回の定員増でも1人の担任で対応できると考えています。また、3年保育の高いニーズを踏まえると定員増は必要と考えます。</p>
<p>8 低年齢から共同生活をさせた方が、社会性を持った人間が育てられると思うので、是非3年保育を検討してもらいたい。また、私立に比べ区立幼稚園では時間等が短いのが難点だ。働く女性も増えてきているので、もっと預かり保育や延長保育が可能になればより多くの方が利用できると思う。</p>	<p>ご意見は今後の取組みの参考とします。 平成25年に行いましたニーズ調査の結果、3年保育の需要が高まっていることに対応し、今回3歳児保育を拡充することとしました。また、預かり保育については、運営上の課題等を検証するため、平成27年9月から区立市谷幼稚園と西戸山幼稚園で試行します。平成28年度からは試行する2園に加え鶴巻と花園幼稚園で預かり保育を実施しますが、運営方法等は基本的に同じものとする予定です。なお、幼稚園では教育課程に係る教育時間を概ね4時間とすることが、幼稚園教育要領の中で定められていますので、教育課程としての時間を延ばすこと(延長保育)は考えていません。</p>
<p>9 3歳児クラスの定員の増加を希望する。人数が少なすぎるし、近所にある市谷幼稚園は定員17名に対し、今年は60～70名の応募があり、当たる確率は低いとうわさになっていたのので、募集時期が早く、先に合格をいただいた私立幼稚園に入園した。区立の幼稚園の合格を出す時期も早めてほしい。 また、子どもが思いっきりボールで遊んだり、体を動かせる遊具のある公園が少なすぎると思う。区立の幼稚園を地元の子どもの遊び場として開放してもらいたい。</p>	<p>ご意見として伺います。 市谷幼稚園の3歳児の定員を20名に増やすとともに近隣の早稲田幼稚園や余丁町幼稚園で3年保育を開始すると、抽選倍率も抑制されるのでは、と考えています。 また、区立幼稚園では各園で子育て支援事業を計画的に行っていますので、ご利用ください。</p>
<p>10 早稲田幼稚園の3年保育導入、定員増加、延長保育の実施は大変ありがたい。是非実現していただきたい。幼稚園では弁当持参とのことだが、希望者に対し外部のお弁当宅配業者のお弁当を利用できるようにしていただけるとありがたい。給食導入のように園側の追加費用は発生せず、民間と連携していただければと思う。</p>	<p>ご意見は、今後の取組みの参考とします。 区立幼稚園での給食の導入については、設備面等の理由により現時点では困難な状況です。しかし今後弁当配送については検討の余地を残すところです。</p>

	意見等の要旨	区の考え方
11	<p>大久保幼稚園は廃園の対象の一つでもあったため、廃園に関する見送り決定は大変嬉しく思っている。そして3歳児の定員増、3年保育幼稚園の拡大、預かり保育の実施、いずれも保護者にとってはとてもありがたいことだと思う。特に預かり保育に関しては、私どもに限らずほぼすべての保護者が実現して欲しい施策だと思う。</p> <p>しかし、預かり保育を実施しても職員の増員は今のところ予定はない、とのことだが、やはり保護者としては心配なところもある。職員の負担が増え、逆に教育の質が落ちるのではないかと、子どもたちの安全面がおろそかになるのではないかと考えてしまう。私達保護者の立場として、預かり保育はとてもありがたいことだが、だからこそ長く続けて欲しい。そのためには職員ばかりに負担が言ってしまうようでは長く続かないと思うので、保護者・職員共にうまく意見をすり合わせて、お互いにとって納得のいく預かり保育の実施をお願いしたい。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>子ども・子育て支援新制度において国が定める幼稚園教諭の配置基準は3歳児20人に対し教諭1人となっていますので、今回の定員増でも1人の担任で対応できると考えています。また、3年保育の高いニーズを踏まえると定員増は必要と考えます。</p> <p>また、預かり保育については専任の臨時職員を配置し、担任と連携を取りながら幼児の生活に無理のないような教育活動を展開していかれるように進めていきます。</p>
12	<p>預かり保育で体操、サッカー、絵画や工作などの芸術、英語などは是非取り入れていただきたい。その際にもやはり先生方の負担が大幅に増えるので、先生の人数の増加、もしくは外部の講師やボランティアの方々をお願いするべきだと思う。</p> <p>幼児期は人間の土台となる大切な時期だ。子どもたちがやがて成長してよりよい社会、日本、輝かしい未来を作っていけるように目先のことだけでなく、もっと大きな視点、もっと現場をよく見て知っていただき、よりよい区立幼稚園を作っていただきたい。</p>	<p>ご意見は今後の取組みの参考にします。</p> <p>現在各園では国際理解教育の一貫として様々な異文化理解の取組みを行っています。今後も各園で様々な経験ができるように工夫して取り組んでいきます。</p>
13	<p>3年保育は現在の社会状況では必須となっており、すべての子どもたちが当然に受けられる権利として確立されるべきだと思う。拡充されることは大いに賛成だ。</p> <p>しかし定員については「集団生活1年生」の3歳児なので、17人という今の定員でも十分に目が行き届いていないように見受けられる。教育の質を落とすことのないように定員は17人で留めるべきではないか。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>子ども・子育て支援新制度において国が定める幼稚園教諭の配置基準は3歳児20人に対し教諭1人となっていますので、今回の定員増でも1人の担任で対応できると考えています。また、3年保育の高いニーズを踏まえると定員増は必要と考えます。</p>
14	<p>預かり保育については私立幼稚園との格差が著しく、公平性を欠いている点だと考えられる。説明会では「地域(園)によってニーズに相違があるのでその各要望に沿って、各園で実施の方法を検討していきたい」とのことだったが、現在在籍する園児のニーズとこれからの園児のニーズは一緒ではないことは当然だ。それよりも新宿区立幼稚園として、一律のサービスを提供することが公平性の観点からも求められるのではないか。</p>	<p>ご意見は今後の取組みの参考にします。</p> <p>運営上の課題等を検証するため、平成27年9月から区立市谷幼稚園と西戸山幼稚園で預かり保育を試行します。平成28年度からは試行する2園に加え鶴巻と花園幼稚園で預かり保育を実施しますが、運営方法等は基本的に同じものとする予定です。また、私立幼稚園の保護者には負担軽減策として入園料や保育料などの補助を行い、特色ある教育を進めている私立幼稚園も利用しやすいようにしていきます。</p>

意見等の要旨		区の考え方
15	3年保育には賛成だが、個人的にはそれよりも先に普段の保育時間を長くしていただけるほうがパートなど働きに出やすいので、できれば優先して欲しい。	ご意見は今後の取組みの参考とします。 幼稚園では教育課程に係る教育時間を概ね4時間とすることが、幼稚園教育要領の中で定められていますので、教育課程としての時間を延ばすこと(延長保育)は考えていません。なお、運営上の課題等を検証するため、平成27年9月から区立市谷幼稚園と西戸山幼稚園で預かり保育を試行します。平成28年度からは試行する2園に加え鶴巻と花園幼稚園で預かり保育を実施しますが、運営方法等は基本的に同じものとする予定です。
16	3年保育の方がありがたい。	ご意見は方針に取り込み済みです。 平成28年度から運営するすべての区立幼稚園で3年保育を実施します。また、平成28年度から区立市谷幼稚園と西戸山幼稚園に鶴巻と花園幼稚園を加え、預かり保育を実施します。
17	幼児を育てながら大学院の博士課程にて研究をしているが、保育園に預けたくても持ち点(指数)が低くなかなか入れない。また、大学の学費もかかるので、私立幼稚園の保育料も負担が大きい。子育てしながら研究を続けられるように、区立幼稚園での預かり保育を実施していただきたい。	ご意見は方針に取り込み済みです。 運営上の課題等を検証するため、平成27年9月から区立市谷幼稚園と西戸山幼稚園で預かり保育を試行します。平成28年度からは試行する2園に加え鶴巻と花園幼稚園で預かり保育を実施しますが、運営方法等は基本的に同じものとする予定です。
18	預かり保育の要件や料金について知りたい。	ご質問にお答えします。 平成27年9月から区立市谷幼稚園と西戸山幼稚園で預かり保育を試行しています。 試行期間中の利用要件は、就労、入院、通院、介護、看護、会議出席、心身のリフレッシュ等です。 保育料は一日単位で申し込む一般利用を日額500円、就労や介護などの事由により月単位で申し込む定期利用を月額5,000円としています。 平成28年度以降の保育料等に関しては、試行の際の保育料等を基礎に検討していきます。
19	預かり保育は月に5回まで等制限を設けての実施が良いと思う。あくまで幼稚園なので保育園に入れなくても働きたい父兄には向いていないと思う。少人数なのでPTAや役員などの役割分担でも、就労している人は引き受けてくださるのか、調整ややり取りで問題が起こらないか。 また、預かり保育を毎日可能にすると募集人数以上に多くなり、今までの津久戸幼稚園の良いところが失われてしまうことが心配だ。	ご意見は今後の取組みの参考にします。 運営上の課題等を検証するため、平成27年9月から区立市谷幼稚園と西戸山幼稚園で預かり保育を試行します。平成28年度からは試行する2園に加え鶴巻と花園幼稚園で預かり保育を実施しますが、運営方法等は基本的に同じものとする予定です。 幼児教育の環境としての集団の大きさについては、一定規模の集団の中で個性の異なる幼児がその触れ合いを通し、社会性や豊かな人間性を育み、義務教育へと円滑に移行できるよう、適正な規模としていく必要があります。新宿区教育委員会では、1学級の園児数は20人以上の規模が適正であると考えています。

意見等の要旨		区の考え方
20	「3. 見直しの結果」を拝見して幼稚園の先生方の募集に何か影響はあるか教えて欲しい。	ご質問にお答えします。 次に、区立幼稚園の教員採用については、これまで同様、区立幼稚園全体の運営の中で正規教員の必要数を検討し、その配置を行っていきます。このため、特段の影響はありません。
21	「3. 見直しの結果」の預かり保育について、「平成28年度から本格実施」とあるが、規模を教えて欲しい。	ご質問にお答えします。 運営上の課題等を検証するため、平成27年9月から区立市谷幼稚園と西戸山幼稚園で預かり保育を試行します。平成28年度からは試行する2園に加え鶴巻と花園幼稚園で預かり保育を実施しますが、運営方法等は基本的に同じものとする予定です。
22	区立幼稚園の3年保育の定員増や3歳児学級の新設には反対だ。現状より質が低下すると考えられるので、子ども園の増設の方が、今後のニーズや動向に合致しているのではないかと。区立の子ども園を是非増やしてほしい。	ご意見として伺います。 区では、就学前の子どもの成長と発達段階に応じた教育・保育を一体的に行う施設として、平成19年4月に区立四谷子ども園を開設し、以後、区立保育園の子ども園化などにより、平成25年4月までに区立子ども園10所を整備してきました。その後も、平成27年4月に開設した私立大久保わかさ子ども園に続き、10月には(仮称)西富久子ども園を開設するなど、公立・私立を含め、保護者が選択できる多様な保育・教育環境の整備を進めています。 今後も、乳幼児人口の推移や保護者のニーズに留意しながら、子ども園化を希望する私立幼稚園・私立保育園に必要な支援を行うなど、認定こども園の整備を検討していきます。幼稚園の3歳児保育の充実については、ニーズ調査からも必要性が明らかになり、質実ともに向上を図っていきます。

3 「4 私立幼稚園との連携について」について

意見内容		回答
23	「4. 私立幼稚園との連携について」には「私立幼稚園連合会等と今後の連携に向けた協議を継続していきます。」とあるが、保護者や地域の皆様との合意形成に努めると同時に私立幼稚園連合会等の方々との合意形成にも努めていただきたい。	ご意見の趣旨に沿って取り組みます。 3年保育や預かり保育などの幼稚園ニーズに対しては、公私立幼稚園が連携のもとに対応していくことが必要だと認識しています。今後も、私立幼稚園連合会等と協議しながら、幼稚園ニーズへの対応を行っていきます。
24	「4. 私立幼稚園との連携について」には「私立幼稚園連合会等と今後の連携に向けた協議を継続していきます。」とあるが、私立幼稚園連合会等の方々のご意見、ご要望の内容を知らせて欲しい。	ご意見として伺います。 3年保育や預かり保育などの幼稚園ニーズに対しては、公私立幼稚園が連携のもとに対応していくことが必要だと認識しています。このため、私立幼稚園連合会等と幼稚園ニーズへの対応を進めていくための様々な意見交換を行っています。

4 「5 見直し方針の実施について」に関するもの

	意見内容	回答
25	<p>以前のパブリック・コメントの区の考え方には、「区は従前からすべての就学前教育・保育施設を子ども園にするという考え方はない」と書いてある。今回の「5. 見直し方針の実施について」も明記すべきではないか。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>区立幼稚園の認定こども園への転換については、新たな「区立幼稚園のあり方の見直し方針」による運営が安定的に実施されていることを見届けた上で、その後の方針を検討していきたいと考えています。</p> <p>このため、「区立幼稚園のあり方の見直し方針」に認定こども園への転換について記載する予定はありません。</p>
26	<p>「5. 見直し方針の実施について」に次の文章も書きくわえた方がよい。「なお、区立幼稚園の「認定こども園への転換」については新たな「区立幼稚園のあり方の見直し方針」による運営が安定的に実施されていることを見届けた上で、その後の方針を検討していきます。」</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>将来的な区立幼稚園のあり方については、幼児人口の推移や、私立幼稚園、認定こども園、保育園等との役割分担、区立幼稚園に求められるニーズの変化等を踏まえて総合的に検討していく必要があると考えています。このため、現在の記載内容を大幅に変更する予定はありません。</p>
27	<p>「平成27年度中に試行的に実施」とあるが、平成27年度当初予算にはないので、補正予算を編成するのか。もしそれでしたら予定を教えてください。対象になる園児さんの募集方法も知りたい。</p>	<p>ご質問にお答えします。</p> <p>区議会第二回定例議会で補正予算案が原案どおり議決されました。</p> <p>これにより、平成27年9月から区立市谷幼稚園と西戸山幼稚園で預かり保育を試行します。定員は各園25人ずつとし、対象園児は両園の在園児です。預かり保育を利用する園児の募集は、7月から両園で開始しますが、直接幼稚園に利用の申込みを行っていただきます。</p>
28	<p>「5. 見直し方針の実施について」にある「平成27年11月から始まる平成28年度の区立幼稚園園児募集」には平成28年度から本格実施される預かり保育の実施園、実施人数、実施時間等も教えてください。</p>	<p>ご質問にお答えします。</p> <p>運営上の課題等を検証するため、平成27年9月から区立市谷幼稚園と西戸山幼稚園で預かり保育を試行します。平成28年度からは試行する2園に加え鶴巻と花園幼稚園で預かり保育を実施しますが、運営方法等は基本的に同じものとする予定です。</p> <p>具体的な園名や利用定員、実施時間等については、平成28年度区立幼稚園園児募集のチラシや広報「しんじゅく」、区ホームページ等でお知らせします。</p>
29	<p>「5. 見直し方針の実施について」のところに今後の予定を具体的に載せてほしい。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>「区立幼稚園のあり方の見直し方針」は、区立幼稚園運営の基本を定めるものであるため、今後の予定については、現在の記述を大幅に修正する予定はありません。</p>

5 その他

	意見内容	回答
30	<p>素案の中で3歳児の定員増に対しては賛成だが、受け持つ教諭の人数が1名ということについて異論がある。大人1名では十分な対応が不可能と思う。絶対人数の少ない幼稚園では補助に入れる大人に余裕はない。事務非常勤や担当クラスの大人も非常勤では話にならない。今回預かり保育も実施というところでは正規の採用が必須と思う。是非正規で1名採用して欲しい。</p>	<p>ご意見として伺います。 子ども・子育て支援新制度において国が定める幼稚園教諭の配置基準は3歳児20人に対し教諭1人となっていますので、今回の定員増でも1人の担任で対応できると考えています。また、3年保育の高いニーズを踏まえると定員増は必要と考えます。 また、預かり保育については臨時職員を配置し、担任の負担が過重にならないようにしながらも連携を取り、幼児の生活に無理のないような教育活動を展開していかれるように進めていきます。</p>
31	<p>幼稚園の教諭がどうして正規採用ではないのか不思議だ。非常勤では役職に対する制約はないのか。有能な非常勤職員が副園長として力を発揮できないことなど、もったいないことだと思う。 親が幼稚園に入りたい理由は、子育てへの不安、集団に慣れさせたいなど様々だと思う。親へのフォローが必須だ。そのためにも責任ある正規職員の採用を切に希望する。</p>	<p>ご意見は今後の取組みの参考とします。 平成26年度に2人、27年度に3人の正規教員を採用してきており、必要な人員の確保に努めております。また、今後の幼稚園の正規教員の採用は、これまで同様、区立幼稚園全体の運営の中で正規教員の必要数を検討し、その配置を行っていきます。</p>
32	<p>学校では給食なのになぜ幼稚園はお弁当なのか。時間が短いだけなのか。ぜひ給食も教育の一環として考えていただきたい。</p>	<p>ご意見は今後の取組みの参考とします。 区立幼稚園での給食の導入については、設備面等の理由により実施することが現時点では困難な状況です。</p>
33	<p>他区から新宿区に引っ越してきたが、近所の友達から幼稚園が少なく、入れない人もいると聞き驚いた。より多くの日にちを長く預かっていただけると本当にありがたい。今の時代の今の女性のできることや選択肢も増えているからこそ、幼稚園、預かり保育の需要増だと思う。 他の区の情報も耳にするが、その中で、新宿区の教育が光っているように感じなかった。 区立幼稚園と私立幼稚園の違い、幼稚園と子ども園の違い、保育時間の長さだけでなく2年保育と3年保育の何が違い、長所短所はあるのかななどの情報も知りたい。 新しいマンションも増えていて、これからも子どもが多くなると思う。もし、幼稚園が増えるなら特色のある私立の誘致や何か際立った特徴のある区立幼稚園ができてほしいのではと思う。よい教育の種を子どもたちに与えていただきたい。</p>	<p>ご意見は今後の取組みの参考とします。 保護者の就学前教育・保育施設選択の幅を広げるため、新宿区内の公私立幼稚園や認定こども園に関する情報を区ホームページや教育委員会広報紙などにより積極的に発信していきます。 その中で、区の就学前教育についての考え方等についてもお知らせしていきます。 今後も公私立幼稚園の連携のもと、質の高い幼児教育の提供に努めていきます。</p>
34	<p>兄弟姉妹で同じ園に通わせたい。優先枠を作って欲しい。</p>	<p>ご意見の趣旨に沿って取り組みます。 兄弟姉妹優先枠については、4歳児クラスは既に設けていますが、定員の少ない3歳児クラスについては、現在、設けていません。</p>
35	<p>区立幼稚園園児募集の兄弟姉妹優先枠について区の考え方を知りたい。</p>	<p>平成28年度から3歳児クラスの定員が17人から20人へ増員となることを踏まえ検討した結果、平成28年度の園児募集に当たっては、3歳児クラスについても兄弟姉妹優先枠を新たに設けることといたしました。</p>

意見内容	回答
36 多子家庭への対応を求める。長男が幼稚園生活をするにあたり、二男を連れて参加しないことが望ましい、または実質的にできない場合がある。第二子、第三子がいても十分に第一子に対応できるような体制を整えていただきたい。	ご意見として伺います。
37 併願できるようにして欲しい。	ご意見として伺います。 新宿区ではより多くの方に区立幼稚園・子ども園を利用いただけるよう、区立幼稚園及び区立子ども園(短・中時間)の中から1園をご選択いただき、入園申請をしていただく方法を取っています。今後も公平性の観点から引き続き同様の方法で入園募集を行っていきます。
38 メールを使用した連絡網の簡素化やPTAの負担軽減なども検討していただきたい。	ご意見は今後の取組みの参考にします。 区では子どもの社会的育ちに、保護者の方に関わっていただくことは重要であると考えており、今後も引き続きPTA活動を支援していきます。
39 幼稚園を地域の子どもの遊び場に開放して欲しい。	ご意見の趣旨に沿って取り組みます。 各園で子育て支援事業として園庭解放やイベントを計画的に行っていますのでご利用ください。
40 戸塚第一幼稚園を子育て広場として開放してはどうか。	ご意見は今後の取組みの参考とします。
41 現在建設中のマンションも新たな需要を生み出すことが予測され、五輪に向けた建設ラッシュで都心の子どもの数は更に増加すると思われる。区の教育指導課で良識のある最低限の配慮がなされている公立の施設の拡大と共に、運営面での指導をお願いしたい。	ご意見は今後の取組みの参考とします。
42 園児数が減少し集団保育を基本とする教育環境の維持が難しくなった園が増加するとともに、教員体制の小規模化による様々な運営上の課題が生じた場合にはどのような対策を考えているのか。	ご質問にお答えします。 区立幼稚園における適正な園児数を確保するための手法として、3年保育と預かり保育という2つの取組みの中で、今後の幼稚園ニーズに効果的・効率的に対応していきます。
43 民間保育園で保育士不足といわれている一方で、早稲田大学文学部の学生の中には就職が決まらない人もいと聞いている。このような状況を打破するために、保育士育成が必要ではないか。	ご質問にお答えします。 新宿区では、待機児解消に取り組む一方、保育士不足や潜在保育士の掘り起しを重要課題と認識しています。このため、区立保育園・子ども園における大学や専門学校からの実習生の受け入れや、保育士の資格取得のための補助を行っています。また、今年度はハローワークと連携して就職説明会を開催する予定です。早稲田大学をはじめとする区内の大学や専門学校へも広く周知し、保育士の確保に取り組んでいきます。
44 保育ママの育成についても、民間と連携して取り組んだほうがいいのではないか。	ご質問にお答えします。 現在、区内の保育ママは2名です。これは区が実施主体となり、地域型保育事業として位置づけて実施しています。区においても、従前から区立園が連携して、保育の支援等を行っています。 また、待機児童解消対策は認可保育園の整備を中心に取り組んでいます。ただし、家庭的保育事業者を行おうとする適切な事業者から申請があれば、これを認可し、多様な保育の選択肢としていきます。

意見内容	回答
<p>45 区はこれまで通りの「保護者が選択できる多様な保育環境の整備」という観点から子ども園の整備を進めていただきたい。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>区では、就学前の子どもの成長と発達段階に応じた教育・保育を一体的に行う施設として、平成19年4月に区立四谷子ども園を開設し、以後、区立保育園の子ども園化などにより、平成25年4月までに区立子ども園10所を整備してきました。</p> <p>その後も、平成27年4月に開設した私立大久保わかさ子ども園に続き、10月には(仮称)西富久子ども園を開設するなど、公立・私立を含め、保護者が選択できる多様な保育・教育環境の整備を進めています。</p> <p>今後も、乳幼児人口の推移や保護者のニーズに留意しながら、子ども園化を希望する私立幼稚園・私立保育園に必要な支援を行うなど、認定子ども園の整備を検討していきます。</p>
<p>46 保護者の就労の有無に関わらず、教育・保育を一体的に行うことが就学前の教育環境の向上に資するという理念の下、様々な手法で子ども園を整備していただきたい。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>区では、就学前の子どもの成長と発達段階に応じた教育・保育を一体的に行う施設として、平成19年4月に区立四谷子ども園を開設し、以後、区立保育園の子ども園化などにより、平成25年4月までに区立子ども園10所を整備してきました。</p> <p>その後も、平成27年4月に開設した私立大久保わかさ子ども園に続き、10月には(仮称)西富久子ども園を開設するなど、公立・私立を含め、保護者が選択できる多様な保育・教育環境の整備を進めています。</p> <p>今後も、乳幼児人口の推移や保護者のニーズに留意しながら、子ども園化を希望する私立幼稚園・私立保育園に必要な支援を行うなど、認定子ども園の整備を検討していきます。</p>
<p>47 資料⑥(3)にある要望・意見について、「区立幼稚園には小学校と併設しているという良さがある。幼小連携を重視して良いところを残して欲しい。」とあるが、どう対応していくのか。</p>	<p>ご質問にお答えします。</p> <p>新宿区では幼小連携の大切さを併設の幼稚園だけでなく、公私立の保育園・子ども園とも共有し、行事や会議等計画的に取り組んでいます。今後もこうした取り組みを継続して実施していきます。</p>
<p>48 今回の地域センターの説明会では、教育委員会が、検討結果については今年度中に「区立幼稚園のあり方の見直しの方針の素案」として取りまとめ、地域説明会等の中で丁寧に説明し、平成27年度の方針決定に向け保護者や地域の皆様との合意形成に努めますという姿勢がよく出ていたと思う。</p>	<p>ご意見は今後の取組みの参考とします。</p>
<p>49 待機児解消のため、四谷第二中学校跡地に保育園を作ることを提案する。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>平成27年4月に待機児童数が急増した四谷地域に保育所を整備することは、区としても重要課題です。そのため、平成27年度待機児童解消緊急対策として、28年4月に大木戸子ども園の定員拡大62名、旧新宿第二保育園舎を活用した(仮称)西富久子ども園分園の開設で80名の合計142名の定員拡大を図ります。</p> <p>なお、ご提案の四谷第二中学校跡地については、貸付先での空スペースがないため、現状での活用は難しいと考えます。</p>

意見内容	回答
<p>50 「保護者が選択できる多様な保育環境の整備」という観点から子ども園の整備を進めてほしい。</p>	<p>ご意見として伺います。</p> <p>区では、就学前の子どもの成長と発達段階に応じた教育・保育を一体的に行う施設として、平成 19 年 4 月に区立四谷子ども園を開設し、以後、区立保育園の子ども園化などにより、平成 25 年 4 月までに区立子ども園 10 所を整備してきました。</p> <p>その後も、平成 27 年 4 月に開設した私立大久保わかき子ども園に続き、10 月には(仮称)西富久子ども園を開設するなど、公立・私立を含め、保護者が選択できる多様な保育・教育環境の整備を進めています。</p> <p>今後も、乳幼児人口の推移や保護者のニーズに留意しながら、子ども園化を希望する私立幼稚園・私立保育園に必要な支援を行うなど、認定こども園の整備を検討していきます。</p>